建築工事特記仕様書

本設計図書の項目のうち●印・■印のついたものを適用する。

1章 一般共通事項

- ● 損害保険　建築主と事前に協議のうえ対処する。
- ● 官公署他への手続　工事の施工に必要な官公署他への手続は、施工者の責任において速やかに行う。 1・1・3
- ● 疑義による協議　設計図書に記載のない場合又は、疑いを生じた時は係員と協議する。 1・1・8
- ● 建築材料等　建築材料の製造者、製品、および施工業者などは、特記されたもの又は同等品以上とする。ただし同等品以上とする場合は係員の承認を受ける。 1・4・1
  特記の無いものは一般流通品とする。
- ● 特別な材料の工法　本仕様書および建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法によることができる。
- ● 工事記録写真　各工程毎の工事写真は漏らさず記録し、係員の要求に応じ速やかに提出すること
- ● 工事費以外の費用　建築工事共通仕様書に示されたもののほか下記のものは建築主の負担とする。
  工事に伴う各種納付金
  地鎮祭の準備は施工者が行う。

2章 仮設工事

- ● 係員事務所　● 1号　○ 2号　○ 3号　○ 4号　○ 5号 表2・3・1
  ○ 設けない
- ● 工事用水　構内既存の施設　○ 利用できる　（ ○ 有償　○ 無償 ）
  ● 利用できない
- ● 工事用電力　構内既存の施設　○ 利用できる　（ ○ 有償　○ 無償 ）
  ● 利用できない
- ● 工事用看板　● 設ける　○ 設けない

3章 土工事

- ● 残土処分　● 場外に搬出(余剰分がある場合) 3・2・5
  ○ 構内指示の場所にたい積
  ● 建物外周の盛土場所に敷き均し
- ○ 埋戻し土の種類　○ A種　○ B種　○ C種　○ D種 表3・2・1
- ● 山止め　○ H型鋼　○ I型鋼　● シートパイル 3・3・1

4章 地業工事

- ○ 既製コンクリート杭
  - 種類　○ 遠心力鉄筋コンクリート杭 4・3・1
    - ○ 遠心力プレストレストコンクリート杭
    - ○ 高強度プレストレストコンクリート杭
    - ○ その他の既製コンクリート杭
  - 形状　径（mm）
    - 長さ（m）
    - 設計耐力（kN/㎡/本）
  - 施工法　○ 打撃工法　○ ドロップハンマー 4・3・3
    - ○ ディーゼルハンマー
    - ○ 油圧ハンマー
    - ○ プレオーガー使用　m　φ
    - ○ 振動工法
    - ○ セメントミルク注入工法 4・3・4
    - ○ その他
  - 杭頭処理　○ 1種　○ 2種 4・3・7
  - 検査および記録の特記事項
- ○ 鋼杭
  - 形状　径（mm） 4・4・1
    - 長さ（m）
    - 設計耐力（kN/㎡/本）
  - ○ 杭先端、頭部の補強
  - ○ 錆止め、ノンネガティブ塗装
  - ○ 電気防蝕
  - 施工法　○ 打撃工法　○ ドロップハンマー 4・4・3
    - ○ ディーゼルハンマー
    - ○ 油圧ハンマー
    - ○ プレオーガー使用　m　φ
    - ○ 振動工法
    - ○ セメントミルク注入工法
    - ○ その他
  - 検査および記録の特記事項
- ○ 現場打ち鉄筋コンクリート杭
  - コンクリートの設計基準強度　（N/mm²） 4・5・1
    - ○ 18　○ 21　○ 24　○ 27
  - スランプ　（cm）
    - ○ 12　○ 15　○ 18
  - 鉄筋　（N/mm²）
    - ○ SR235　径
    - ○ SD295A　径　D16以下
    - ○ SD345　径　D19以上
    - ○ SD390　径
  - かぶり厚　（cm）　継手方法
  - 形状　径（mm）
    - 長さ（m）
    - 設計耐力（kN/㎡/本）
  - 工法　○ ベノト 4・5・4
    - ○ アースドリル
    - ○ リバースサーキュレーション
    - ○ 深礎
    - ○ その他
  - 検査および記録の特記事項
- ○ 現場打ち鉄筋コンクリート連続地中壁
  - 工法
  - 躯体との接合法、精度などの特記事項
- ○ 試験を目的とする工事
  - ○ 杭打ち試験　径（mm）
    - （既製杭）　長さ（m）
    - 本数（本）
  - ○ 杭の鉛直載荷試験
  - ○ 杭の水平載荷試験
  - ○ 平板載荷試験
  - ○ CBR試験
  - ○ その他の試験
- ● 砂、砂利、割ぐり、玉石、捨てコンクリート
  - 捨てコンクリートの設計基準強度　（N/mm²） 4・6・1
    - ○ 15　● 18
- ● 地盤改良（埋戻し・嵩上げ分）
  - 工法　● 重機にて転圧
  - その他の特記事項
  - 改良効果などの測定検査

5章 鉄筋工事

- ○ 一般事項
  - 鉄筋が特別な性能を要する場合の特記事項
- ● 鉄筋の種類
  - ○ 高炉物　○ 電炉物 5・2・1
    - ○ SR235　径
    - ● SD295A　径　D16以下
    - ○ SD345　径　D19以上
    - ○ SD390　径
  - ○ 溶接金網の形状・径 5・2・2
- ● 鉄筋の継手方法
  - ● 重ね継手　D19未満 5・3・1
  - ○ ガス圧接　D19以上 5・4・1
  - ○ アーク溶接　（ ○ フープ　○ スターラップ ）
  - ○ 特殊継手
- ● 検査および試験
  - ○ 抜取り　ガス圧接個所 5・4・9
  - ○ 超音波探傷　（試験個所　　）
  - ○ 溶接継手または特殊な継手方法の場合の検査
  - 検査および記録の特記事項
  - ● 記録写真

6章 コンクリート工事

（コンクリート工事）

- ○ 一般事項
  - コンクリートが特別な性能を要する場合の特記事項 6・1・1
  - 材料および工法の特記事項
- ● セメントの種類
  - ● ポルトランドセメント 6・3・1
    - ● 普通ポルトランドセメント
    - ○ 早強ポルトランドセメント
    - ○ 超早強ポルトランドセメント
    - ○ 中庸熱ポルトランドセメント
  - ○ 混合セメント
    - ○ 高炉セメント
    - ○ シリカセメント
    - ○ フライアッシュセメント
- ● 組骨材の最大寸法　（mm）　使用個所・その他 6・3・3
  - ○ 15
  - ○ 20
  - ● 25　基礎一般
  - ○ 40
- ○ 耐火性・耐久性を有する場合
  - 骨材の特記事項
- ● コンクリートの種類 設計基準強度（N/mm²） 所要気乾単位容積重量

種類	設計基準強度	使用個所	所要気乾単位容積重量
● 普通コンクリート	○ 18		
	● 21	基礎一般	
	○ 24		
	○ 27		
○ 軽量コンクリート	○ 18		
	○ 21		
	○ 24		
	○ 27		

＊ Ⅰ類、Ⅱ類の別 表6・1・1

- ○ 混和材料
  - ○ AE剤 6・3・5
  - ○ AE減水剤
  - ○ 防水剤
  - ○ 膨張剤
  - ○ 防錆剤
  - ○ 流動化剤
- ● スランプ

スランプ（cm）	使用個所 6・5・2
18	基礎一般

- ○ 特別なためし練り
- ○ 特別な養生 6・7・1
- ● テストピースによる圧縮強度試験
- ○ マスコンクリート
  - 使用個所 6・13・1
  - セメントの種類
  - 粗骨材の最大寸法（mm）
  - 混和材料
  - スランプ（cm）
- ○ 無筋コンクリート
  - コンクリートの種類 6・14・1
  - 粗骨材の最大寸法（mm）
  - 設計基準強度（N/mm²）
- ○ 水密コンクリート
  - 使用個所
  - セメントの種類
  - 混和材料
  - スランプ（cm）
- ○ プレストレストコンクリート
  - 使用個所
  - 施工業者・製造業者
  - コンクリート　セメントの種類
    - 骨材の品質
    - 粗骨材の最大寸法（mm）
    - 混和材料
    - 設計基準強度（N/mm²）
    - スランプ（cm）
  - PC鋼材　PC鋼材の種類
  - 鉄筋　鉄筋の種類
    - 溶接金網の形状・径
    - シース
    - PC鋼材のコンクリートかぶり厚さ（cm）
  - 型枠　型枠の取りはずし
    - 支柱のもりかえ
  - 定着装置・接続具
  - プレストレッシング　導入工法
    - 作業緊張力
    - PC導入時のコンクリート圧縮強度（N/mm²）
    - PC導入時のコンクリートの材令（日）
  - グラウト　品質および施工法
  - PC部材の精度　製品精度
    - 建方精度

コンクリート工事

（型わく工事）

- ○ 一般事項
  - 型わくが特別な性能を要する場合の特記事項 6・9・1
- ● 材料および構造
  - 種類　コンクリート表面の仕上り程度に見合ったものとする
- ● 組立て
  - コンクリートの打上り精度　● A種　○ B種 表6・2・3
- ● 打放し仕上の種別
  - 使用個所 表6・2・3
  - ○ A種　化粧打放し部
  - ● B種　基礎一般
  - ○ C種
- ● スリーブ貫通孔
  - 使用個所 表6・9・1
  - ○ A種
  - ● B種　基礎一般
  - ○ C種
  - ○ D種　防火区画部

7章 鉄骨工事

- ○ 適用範囲
  - 適用範囲除外の特記事項 7・1・1
- ○ 鉄骨加工業者
  - 社団法人全国鉄構工業連合会認定Mグレード以上 7・1・3
- ○ 鋼材の種類
  - 使用個所 7・2・1
  - ○ SS400　梁部材
  - ○ BCR295　柱材
  - ○ SMA400
  - ○ STK400
  - ○ STKR400
  - ○ SM490
  - ○ SM490A
  - ○ SMA490
  - ○ STK490
  - ○ STKR490
- ○ 高力ボルト
  - ○ JISの高力ボルトのセットの種類 7・4・1
  - ○ 特殊高力ボルトのセットの種類
  - 締付けの検査方法　○ トルクコントロール法
    - ○ ナット回転法（回転量　　）
    - ○ その他　ピンテール切断
- ○ 試験
  - ○ 材料試験
  - ○ 溶接性試験
- ○ 仮組
  - ○ 指定個所
- ○ 受圧面の削り仕上
  - ○ 指定個所
- ○ ボルトのもどり止
- ○ すべり係数試験
- ○ 溶接施工試験 7・6・1
- ○ 溶接工技量付加試験
- ○ 溶接部の検査
  - 検査法　○ 超音波探傷 7・6・11
    - ○ マクロ試験
    - ○ 外観検査
  - 対象個所　突合せ溶接部
  - 抜取り方法　係員の指示
  - 検査率　100 %
  - 合否判定基準　学会基準
  - 検査機関　第三者検査機関
- ○ さび止め塗装
  - 特記事項 7・8・1
  - 塗膜厚の検査
- ○ 耐火被覆
  - 特記事項 7・9・1
- ○ アンカーボルト
  - 保持工法　○ A種　○ B種　○ C種 表7・10・1
  - 埋込み工法　○ A種　○ B種　○ C種
  - ○ 特殊なアンカーボルト
- ○ 柱底ならしモルタル
  - 強度　（N/mm²）　塗厚（mm） 表7・10・2
  - モルタルの種類　無収縮モルタル
  - 均しモルタルの方法　○ A種　○ B種
- ○ デッキプレート等の亜鉛メッキ
  - 種類
- ○ 鉄骨工事に含まれる鉄筋の種類
  - ○ SR235　径
  - ○ SD295A　径　D16以下
  - ○ SD345　径　D19以上
  - ○ SD390　径

工事名
あらぐさ福祉会様 第３クローバーハウス新築工事設計図

備考　図面および仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事共通仕様書に準じる。
建築材料の製造者、製品、施工方法などは、特記されたもの又は同等以上とする。認定番号のあるものは同等性能以上とする。
特記の無いものは一般流通品とする。

株式会社はが建築社芳賀建築設計事務所
一級建築士事務所　埼玉県知事登録(10)第564号
HOMEPAGE : WWW.HAGAKEN.COM　EMAIL : info@hagaken.com
TEL 048-722-6081　FAX 048-722-6082

管理者 芳賀 康三 一級建築士 登録第88273号
設計者 林 弘直 二級建築士 登録第27636号
担当者 林 弘直 二級建築士 登録第27636号

日付 2020.03.30　日付 2020.03.30　日付 2020.03.30

図面名　特記仕様書(1)

縮尺　NO SCALE

図面No.　A-3